

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の本質・目的	社会的養護	鈴木 勲	1年次	秋

授業のキーワード	社会的養護の基礎理念、社会的養護の法制度、子どもの権利擁護
授業の概要	社会的養護の基礎原理及び社会的養護下にある子どもの現状を学び、養護を必要とする子どもの自立支援のための基礎知識を身に付けていくことを目的とする。なお、本科目は、保育実習 I B 事後指導及び保育実習 I B の前提科目となっている。
期待される学習成果（目標）	1.児童福祉施設における保育士の仕事と役割について学ぶ。 2.社会的養護の原理や理念、仕組みについて理解する。 3.社会的養護領域の事例を活用し、社会的養護を必要とする子どもについての理解を深める。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第9講	非行のある子どもの自立支援	非行少年への実践的な支援について学ぶ。
第2講	子どもの社会的養護	子どもの社会的養護の本質を学ぶ。	第10講	情緒障害のある子どもの社会的養護	情緒障害児に対する実践的な支援及び情緒障害児短期治療施設の課題と将来像について学ぶ。
第3講	日本における社会的養護の仕組み	社会的養護の制度や児童相談所の役割について学ぶ。	第11講	知的・身体的障害のある子どもの社会的養護	知的・身体的障害児と社会的養護について理解する。
第4講	社会的養護に携わる専門職	専門職とは何か、他職種とのチームアプローチを実践するために必要な役割やその可能性について理解する。	第12講	児童養護施設における子どもの権利擁護	児童養護施設における子どもの権利擁護システムの現状と課題について学ぶ。
第5講	家庭支援の理論と実践	子育て困難家庭への諸施策とソーシャルワークについて学ぶ。	第13講	当事者から見た日本の社会的養護	当事者から見た社会的養護下での生活及び社会的養護の課題について学ぶ。
第6講	家庭的養護の理念と里親制度	家庭的養護の理念と日本における里親制度の現状と課題について学ぶ。	第14講	社会的養護の今後の課題	日本の社会的養護の現状や動向を踏まえ、その意義と施設保育士の役割を再確認する。
第7講	乳幼児の生命と健やかな育ちの保障	乳幼児の発達保障と権利擁護及び社会的養護との関係性について理解する。	第15講	授業のまとめと振り返り	本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。
第8講	児童養護施設の歴史と自立支援	児童養護施設の歴史的な変遷と自立支援をめぐる課題について学ぶ。	定期試験		全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。
評価方法		学期末のレポート50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行う。詳細については、初回の授業で説明を行う。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
テキストは特に指定せず、必要な資料は授業時に毎回配布する。			望月彰編著『シードブック改訂子どもの社会的養護出会いと希望のかけはし』建帛社 2006年 その他の参考書については、授業内で適宜、紹介する。		